



よしだつうしん

吉田通信

第15号
【2015年12月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆姜尚中さんのお話を聞いてふと思いました◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第15号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、10月26日（月）新潟県民会館にて、東京大学名誉教授の姜尚中（カンサンジュン）さんの特別講演「悩む力・心の力」があり、私も参加してきました。この特別講演は、とあるお寺様のグループ「親鸞さんに会おう実行委員会」が主催で、私たち吉運堂は特別協賛という形で、いろいろお手伝いさせていただきました。当日、会場に来られたお客さんの数はなんと約1200名！大ホールは超満員で、イベントとして大成功でした。

姜尚中さんのお話は「生きづらい世の中、モノの豊かさを追求するよりも、生きがいを追求していきましょう」という内容のものでした。幸せは人生の目的ではない、大切なのは生きがいだ。グローバル時代に国際競争力を！と叫ばれる中、姜尚中さんは地域社会を強くすることが大事ですと、非常にいいお話を聞くことができました。

姜尚中さんのお話の中で個人的に印象に残っているのが、自殺者（「自死」と言っていました）の数が日本よりアメリカの方が少ないというお話です。あとで調べたのですが、人口10万人に対しての自殺者の数は日本が21人なのに対し、アメリカは12人と約半分でした。姜尚中さんいわく、アメリカが少ない理由は、社会でフォローをする仕組みがあるからとのこと、そしてその役割を大きく担っているのが「教会」とボランティアであるとのことでした。



私はここでふと思いました。日本でもNPO法人さんなどが自殺者を減らす活動をされていますが、まだまだ広くは認知されておらず、その重要な役割を、お寺様が大きく担うことができるのではないかと…。

最後に、吉運堂としては今回のようにお寺様が主催される講演会など様々な活動に、できる範囲ではあります、可能な限りお手伝いさせていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

◆発行者コラム◆

今回も最後までお読みいただき、どうも有り難うございました。おかげさまで、今年一年この吉田通信を毎月継続発行することができました。これも読者の皆様がいてくださるおかげです。本当にどうも有り難うございます。実はこれまで社員にはこの吉田通信を（恥ずかしくて）見せていなかったのですが、複数のお寺様から「社員にも見せた方がいいよ」というお声をいただきましたので、これからは社員にも渡そうと思っています（笑）。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史